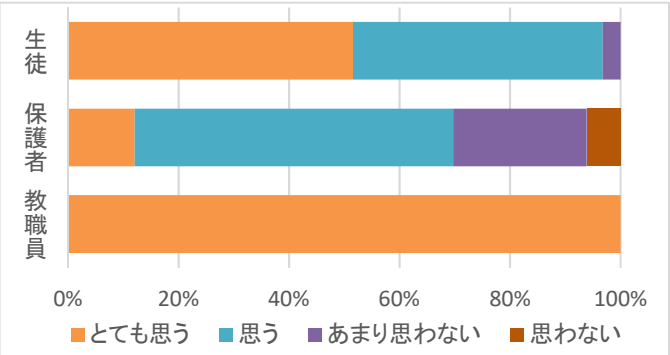
拓心中だより

令和５年8月31日
猿払村立拓心中学校
学校だより【特別号】
発行責任者：校長　藤田　淳

１学期末に保護者の皆様にご協力いただきました『前期学校評価』について、その結果と考察、改善策などを以下にお知らせいたします。ご協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。なお、この評価は同じ設問で生徒も教職員も回答しています。

1　先生は、「わかる授業」をしている。

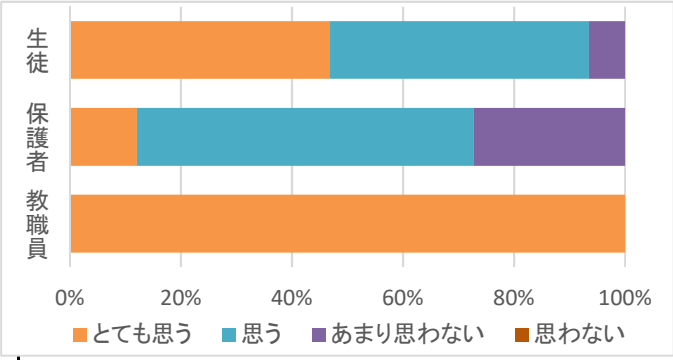
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R４	45.5	51.9	2.6	0.0
	前期	51.6	45.2	3.2	0.0
保護者	R４	18.0	62.3	18.0	1.6
	前期	12.1	57.6	24.2	6.1
教職員	R４	15.4	84.6	0.0	0.0
	前期	100.0	0.0	0.0	0.0



「とても思う」と答えた生徒の割合が昨年度より増えました。授業は学校の中核ですので、より良い授業が行えるよう教員の研修を進めて、授業を改善・充実させていきます。その授業改善が、子どもの学力向上にも結びついていきます。また、より良い学習に向けた取り組みについて、参観日などの機会や通信、ＨＰなどを活用してお知らせしていくと共に、生徒の様子を通して、保護者の皆様に実感していただけるように努めます。

2　先生方は、「生徒の考える力を高める授業」をしている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R４	41.6	55.8	2.6	0.0
	前期	46.8	46.8	6.5	0.0
保護者	R４	16.4	54.1	27.9	1.6
	前期	12.1	60.6	27.3	0.0
教職員	R４	7.7	92.3	0.0	0.0
	前期	100.0	0.0	0.0	0.0

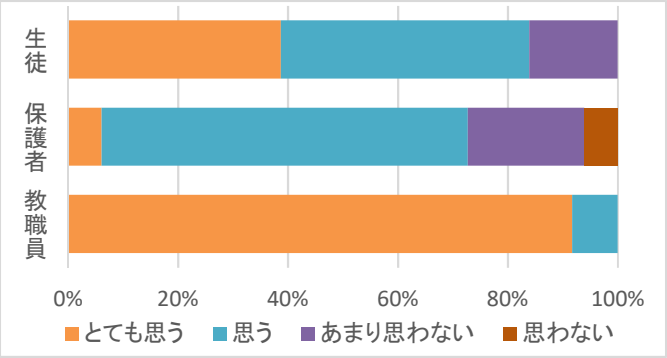


生徒の考える力を高めていくために、グループ学習の中で協働的な活動を取り入れたり、一人一台端末を使用して思考力や判断力を高めたりと工夫して進めています。授業では思考を問う課題があります。それまで身につけた知識を総動員して、結びつけ、自分の考えを導き出します。その過程を地道に、何度も繰り返す中で思考力が少しずつ身に付いていきます。

知識を身につけ、その中から考えを巡らせることに慣れていけるように進めていきます。

3	生徒は、授業で将来必要な力を身につけている。 学校は、生徒に必要な資質・能力を育成している。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R４	32.5	49.4	18.2	0.0
	前　期	38.7	45.2	16.1	0.0
保護者	R４	16.1	54.8	27.4	1.6
	前　期	6.1	66.7	21.2	6.1
教職員	R４	7.7	76.9	15.4	0.0
	前　期	91.7	8.3	0.0	0.0



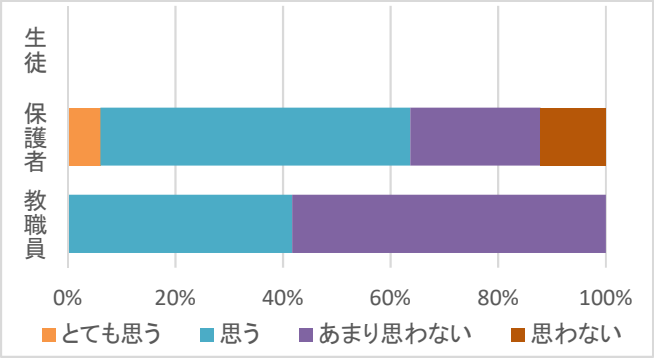
生徒及び教職員は、授業で「将来必要な力」を生徒自身が身につけていると感じている者が多いことが分かります。一方で、保護者は３割ほどがそう捉えてはいない結果が出ています。設問１と同様に保護者の理解が高まるように努めます。

なお、この設問の評価は高かったものの、生徒は、今学習していることが将来の役に立つのかどうかの疑問を持ちながら勉強しているかもしれません。今は進学のためという目標のために努力しているのが現実かもしれません。

しかし、学習の内容が将来そのまま役立つかどうかはどのような人生を歩むかによって差はあると思いますが、自分で考え、判断し、人生を切り拓いていくための意欲や資質、能力の向上に間違いなくつながります。そのための学習であるということの理解が深まるように努めていきます。

4	学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かる。 学校の学力向上の取組や成果、改善策は保護者に理解されている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R４				
	前　期				
保護者	R４	15.3	37.3	42.4	5.1
	前　期	6.1	57.6	24.2	12.1
教職員	R４	0.0	30.8	53.8	15.4
	前　期	0.0	41.7	58.3	0.0

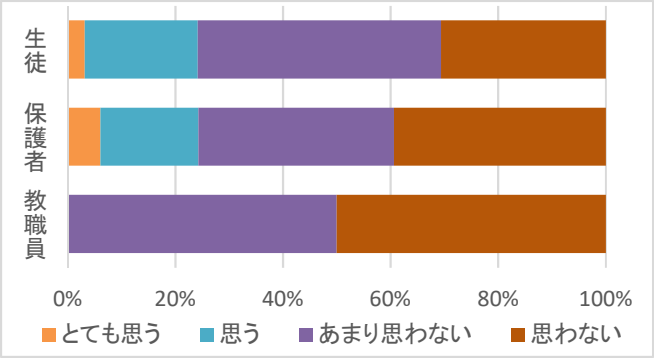


肯定的な回答は保護者で約６割、教職員が約４割にとどまりました。設問１～３の状況から見て、学校の情報提供の不十分さがこの設問の回答状況から伺えます。

今後の方策を考え、伝わる努力をしていきます。そして、そのことを通して、家庭での学習に関わる親子の会話の話題提供、ひいては充実につなげられればと考えています。

5	私（生徒）は、家でもしっかりと学習している。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R４	7.8	22.1	37.7	32.5
	前　期	3.2	21.0	45.2	30.6
保護者	R４	17.7	27.4	16.1	38.7
	前　期	6.1	18.2	36.4	39.4
教職員	R４	0.0	0.0	25.0	75.0
	前　期	0.0	0.0	50.0	50.0



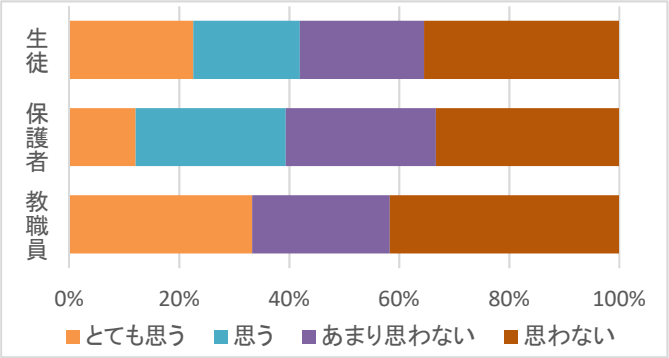
三者共に思わしくない結果ですが、特に保護者の低評価が昨年度よりも２１％増えています。

家庭学習には、復習することでより確かな定着を図ることと、予習することで授業の理解度を上げるという２つの大きな目的があります。現状、家庭学習習慣の未定着は大きな課題です。

各教科の家庭学習のアドバイスや定期テスト前の学習計画表の取組、教育相談などを実施していますが、今後も生徒が自分ごととして、学習への取組を考えながら家庭学習習慣を身につけていけるよう支援していきます。あわせて、ご家庭での声掛け、励ましをお願い致します。

6	私（生徒）は、スマホやゲームを使いすぎないようにしている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R４	23.4	24.7	27.3	24.7
	前　期	22.6	19.4	22.6	35.5
保護者	R４	21.0	17.7	19.4	41.9
	前　期	12.1	27.3	27.3	33.3
教職員	R４	0.0	7.7	38.5	53.8
	前　期	33.3	0.0	25.0	41.7



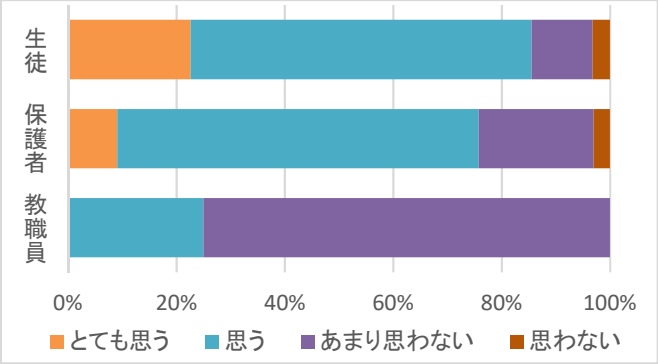
家庭学習の不十分さの要因としてスマホやゲームの長時間使用が挙げられます。また、家庭学習のみならず生活リズムにも悪影響を及ぼしていると考えられます。

これまでも学校では折に触れ、メディアの使い方について生徒自身が考える機会や指導を行ってきました。改めて確認したいことは、メディアの使用をコントロールすることで自律の力の向上を図っていくことが必要だということです。

スマホやゲームの楽しさや良さを認めつつ、今自分は何をすべきかを考えた行動ができるよう、学校でも引き続き指導をしてきますが、親子での話し合いもぜひお願いします。今後について、親子で共に見据えながら考えていただけたならと思います。

7	生徒は、マナーやルールが身についている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R 4	33.8	51.9	13.0	1.3
	前　期	22.6	62.9	11.3	3.2
保護者	R 4	16.4	72.1	9.8	1.6
	前　期	9.1	66.7	21.2	3.0
教職員	R 4	0.0	38.5	61.5	0.0
	前　期	0.0	25.0	75.0	0.0

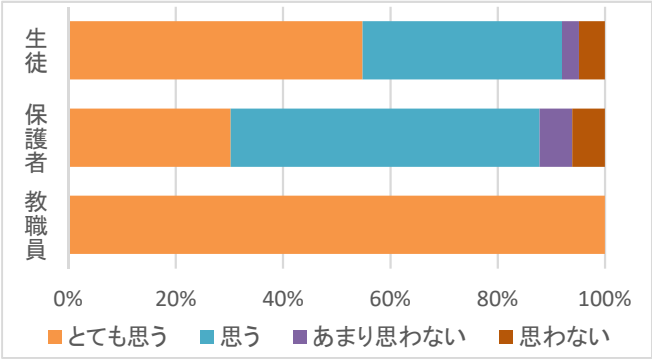


生徒及び保護者と教職員との評価の差が大きくなっています。しっかりとした学校生活が過ごせている生徒がいる一方で、日常の学校生活で見られる課題があることがその要因だと思われます。
具体的な例を挙げると、チャイム着席や廊下での過ごし方、提出物の期日などで課題があります。

これまで同様今後もマナーやルールが守れていない場面や、相手に不快な思いをさせてしまう場面を捉えて、その都度指導していきます。また、生徒会や委員会からの働きかけも継続していきます。あわせて、挨拶についても意識して取り組んでいきます。挨拶は人と人のコミュニケーションの最初の一歩として、心地よい関係性を構築するのには欠かせません。

8	生徒は、いじめのない学校生活を送っている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R 4	66.2	31.2	1.3	1.3
	前　期	54.8	37.1	3.2	4.8
保護者	R 4	30.6	56.5	11.3	1.6
	前　期	30.3	57.6	6.1	6.1
教職員	R 4	15.4	69.2	15.4	0.0
	前　期	100.0	0.0	0.0	0.0



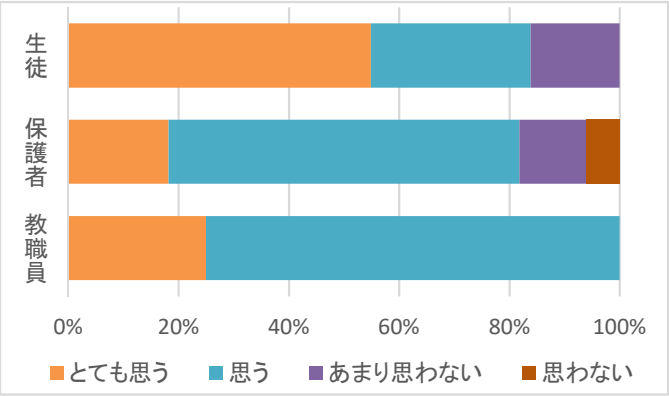
肯定的な回答が多くなっていますが、「思わない・あまり思わない」がなくなることを目指していく一方で、いじめはどこでも、誰にでも起こりうるという認識をもち、いじめの未然防止に努めます。

そのために、全教職員による日常的な観察やアンケート調査・面談などを今後も大切にしていくと同時に、いじめが確認された場合は、組織的にかつ的確な対応をしていきます。そのための研修にも努めていきます。また、限られた機会ではありますが、今後もスクールカンセラーの活用を進め、生徒の悩みに対して解消に向かうアドバイスや対策を、少しでも提供できるように進めていきます。

なお、安心・安全な学校生活を保障していくためには、保護者との連携は欠かせません。少しでも気になることや心配なことがございましたら、遠慮なくお伝えください。

9	先生は、ていねいに生徒の相談にのっている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R 4	40.3	51.9	6.5	1.3
	前　期	54.8	29.0	16.1	0.0
保護者	R 4	20.0	55.0	21.7	3.3
	前　期	18.2	63.6	12.1	6.1
教職員	R 4	53.8	46.2	0.0	0.0
	前　期	25.0	75.0	0.0	0.0



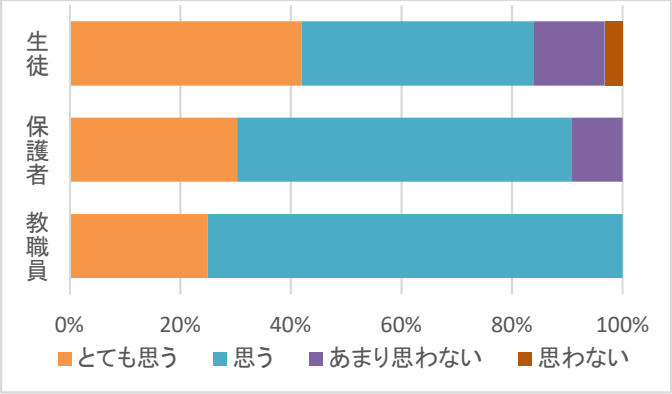
この設問も肯定的な回答が多いですが、そうは思っていない生徒及び保護者がいることから、今後もていねいな対応を心がけ、生徒と保護者の信頼が得られるようにしていきたいと思います。

多感な時期の生徒ですので、様々な悩みや不安、葛藤などがあります。その一つ一つを生徒と共に考え、生徒が自分で判断し、行動に起こしていけるよう支援していきます。なお、スクールカウンセラーとの連携はもちろん、必要に応じて関係機関とも連携していきます。

また、ここでも保護者との連携は不可欠です。保護者と学校とがお互いに協力協働していけるようよろしく願いします。

10	行事を通して、生徒の成長が感じられる。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R 4	36.4	46.8	15.6	1.3
	前　期	41.9	41.9	12.9	3.2
保護者	R 4	30.0	53.3	13.3	3.3
	前　期	30.3	60.6	9.1	0.0
教職員	R 4	38.5	53.8	7.7	0.0
	前　期	25.0	75.0	0.0	0.0

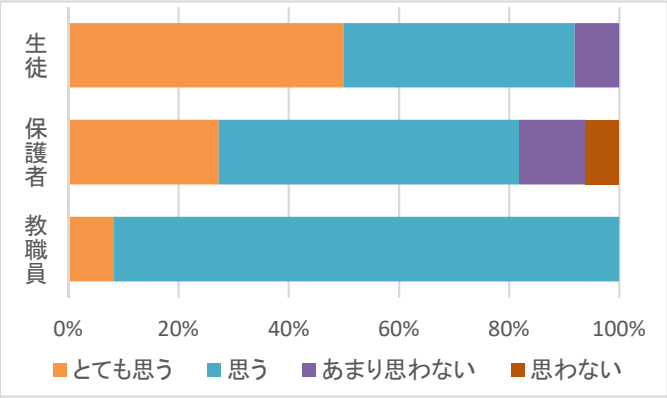


1学期では、大きな行事として、1年生の宿泊研修、2年生は高齢者体験、3年生は修学旅行がありました。行事の前後で生徒の考え方や行動にすばらしい変化があり、成長が伺えました。2学期では、体育祭、学校祭があります。学級・学校が一体となった取り組みを通して、生徒の成長につなげていくように支援していきます。

今後も、生徒が「成長できた」と実感できるように、生徒自身の考え、行動する場面を大切にしながら、工夫して行事を進めていきます。

11	お便りなどで、学校や学級のこと（生徒の様子や様々な情報）がわかる。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生　徒	R４	53.2	37.7	7.8	1.3
	前　期	50.0	41.9	8.1	0.0
保護者	R４	24.6	59.0	14.8	1.6
	前　期	27.3	54.5	12.1	6.1
教職員	R４	30.8	69.2	0.0	0.0
	前　期	8.3	91.7	0.0	0.0



各種通信やＨＰ等で学級や学校の様子についてお伝えしています。ただ、通信は印刷物ですので、もしかすると保護者の手元に届いていないというケースもあるかもしれません。これについては、様々なお知らせも同様です。

急を要することや重要なことについては、今後もマチコミメールでお知らせし、ＨＰに詳細を掲載する方法をとっていきます。なお、メールはお読みいただくと開封通知が学校に届くことになっています。少数ですが開封通知が届かないことがあります。必ずマチコミメールはお読みいただけますようお願い致します。

今回の保護者アンケート回収率は４５％でした。（前年度７６％）お忙しい中、回答にご協力いただきました保護者の皆様には改めてお礼申し上げます。今回はWebでの回答という事もあり、回収率が伸びなかった可能性もあります。回収方法は検討したいと思います。

なお、拓心中学校では、学校評価などのアンケートにおいて、肯定的な回答（とても思う・思う）の平均が８０％を超えることを目標にしています。今年度の結果は以下の通りです。

	生　徒	保護者	教職員	全　体
R4	80.5	74.3	73.3	76.7
前期	**77.7**	**71.4**	**72.8**	**73.9**

今回は、目標値（８０％）には及びませんでした。

それぞれの設問の評価結果を真摯に受け止めるとともに、しっかりと分析して今後の学校経営、教職員一人一人の業務改善につなげていきます。

生徒の様々な面での成長には、大人の関わりがとても大切です。子育ての共同体として家庭、学校が手を携えていける、そういう関係性を築いていきたいと考えています。

思春期真っ只中の彼らは、悩みや不安と毎日対峙しています。子どもの心情に対して、寄り添いながら、大人同士の協力協働で、子どもの健やかな成長を実現していきたいと考えています。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

記述	【生徒編】自分が成長できたと思うこと

《１年生》

集中力が上がった／人の心を考える／勉強／人と話した／忘れ物を減らすこと／決断力、集中力／ちゃんと考えてから言う／積極性／積極的に行動できた／わからない問題があったら先生に聞くこと／他の学校の子と喋る／自信を持って意見を言うこと／積極的に問題に答えられるようになったと思う／学校の主なルール、規則がわかった／みんなで協力して物事をこなせるようになった／宿泊研修や給食当番、掃除で仲を深め積極性をもてるようになった／ノートのとり方、勉強の理解力／積極的に行動した／積極性／できなかったことに挑戦できるようになった／ノートの取り方・　授業をちゃんと聞くこと／勉強／テストの点が上がった

《２年生》

勉強の取り組み方／部活の練習／助け合い／コミュニケーション能力／本当の自分を出せる／周りを前よりも見れるようになった／部活／コミュ力、少しだけど周りを見えるようになった／学力／勉強する習慣がついた／見通しを持って行動すること／部活で一つ上の学級として頑張れた／勉強ができるようになった／あまりなし／体力／精神／体力／計画的に勉強を進められた。／部活で頑張れた

《３年生》

テスト前に勉強を多くした／提出物を前よりも多く出せました／大切な友達ができた。授業に真剣に取り組めた／最上級生、部活の主将としての責任感／英語の点数が伸びた／提出物を多く出せた／勉強が頑張れた／たまに勉強するようになった／テストに向けて勉強をすること／勉強する時間が増えた／テストの点数があがった／諦めないところ／いろいろ／考え方／自分でやるべきことはなんなのか考えて行動することができたこと／体調悪くても授業に参加するようになった／先生に頼らず自分で考えられることが増えた／自分なりの勉強法がなんとなく決まってきたこと／諦めない力

記述	【保護者編】我が子が成長できたと思うこと

《１年生》
英検4級合格。／学級の人数が増え、たくさんの友達・仲間と上手に関われているようで楽しい学校生活を送っています／テストに対しての意識。部活への積極的な参加／部活動に対して同学年だけではなく、他学年の方とも交流できるようになったと思います

《２年生》
わからない事をそのまま放置しない様になった事／テスト前に少し勉強する姿が見られた／テスト前勉強の意識向上／家での学習の計画は自分で自主的に行えている／決めた家のお手伝いを自分から進んでできるようになった。勉強の質をあげれるようになってきた／緊張でお腹をこわしたり、トイレにこもる事が少なくなった。家庭学習や塾をより頑張るようになった

《３年生》
成長ではありませんが毎日の忙しい中で学習時間などを現状維持出来ていたと思います／勉強も部活もよく頑張っていたと思います。残りの中学校生活も悔いなく過ごしてほしいです。様々な面で励ましてくださった先生方に感謝です／精神面で逞しくなっている／修学旅行を無事終えられて本当に良かったです。帰ってから少し成長したように思います